

米づくり情報 (NO. 6)

令和6年8月5日

伊万里・西松浦地区農業技術者連絡会作物部会

1 気象概況 (アメダス観測地：伊万里)

月	半旬	平均気温		最高気温		最低気温		降水量		日照時間	
		平年値 ℃	本年値 ℃	平年値 ℃	本年値 ℃	平年値 ℃	本年値 ℃	平年値 mm	本年値 mm	平年値 時間	本年値 時間
7	4	26.7	28.7	30.9	32.5	23.5	25.9	42.4	10.0	28.3	29.9
	5	27.2	29.8	31.6	34.6	23.9	26.7	39.1	56.5	32.3	42.2
	6	27.6	29.4	32.1	34.2	24.2	25.3	44.3	3.0	41.4	67.7
8	1	27.8	—	32.5	—	24.2	—	34.7	—	34.9	—
	2	27.8	—	32.5	—	24.2	—	38.7	—	33.4	—
	3	27.5	—	32.2	—	24.1	—	44.0	—	30.8	—

【7月4半旬～6半旬の気象概況】

- ・気温は、平年より高い。
- ・降水量は、7月25日の降雨以降ほとんど雨が降らず、平年比55%と少ない。
- ・日照時間は平年比137%と多日照であった。

2 生育状況 (8月5日)

項目 品種(設置場所)	移植 日	年次	草丈 (cm)	莖数 (本/m ²)	葉齢 (L)	葉色 SPAD	概要
夢しずく 東山代町脇野	5/23	本年値	出穂期8月1日				・移植日が早かったため、 平年より4日ほど早い出穂
	5/29	平年値	出穂期8月5日				
		平年比(差)	-4日				
ヒノヒカリ 松浦町桃川	6/20	本年値 平年値 平年比 (%,差)	81.7 76.3 107	477 450 106	10.8 12.6 (-1.8)	36.7 37.6 (-0.9)	・草丈は、平年よりやや高い ・莖数は、平年よりやや多い ・葉齢は、平年より少ない ・葉色は平年よりやや淡い

(耕種概要)

- ・夢しずくの耕種概要は稲作情報 No.1、ヒノヒカリの耕種概要は稲作情報 No.4 を参照。

【情報田ウンカ類調査結果 (25株あたり)】 (調査日8月5日)

品種	地域	移植日	トビイロ ウンカ (成虫)	セジロ ウンカ (成虫)	ヒメトビ ウンカ (成虫)	ウンカ類 (幼虫)
夢しずく	東山代	5/23	0	0	0	0
ヒノヒカリ	松浦	6/20	0	0	1	1

3 参考（平坦部 佐賀県農業試験研究センター）（7月30日）

本年産水稻の生育状況（7月30日）

移植日	項目		草丈 cm	茎数 本/m ²	葉齢 L	葉色 SPAD	概況 (平年と比較して)
	品種	年次					
6月18日	夢しずく	本年	74.3	342	11.6	40.1	【気象】7月23日～29日まで ◆平均気温…平年より2.6℃高い ◆日照時間…長い(平年比151%) ◆降水量…少ない(平年比0%) 【生育】 ◆草丈 「夢しずく」でやや高い、「ヒノヒカリ」「さがびより」「ヒヨクモチ」で高い。 ◆茎数 「夢しずく」「ヒノヒカリ」「さがびより」で少なく、「ヒヨクモチ」が多い。 ◆葉齢 「夢しずく」「さがびより」で平年並み、「ヒノヒカリ」「ヒヨクモチ」でやや進んでいる。 ◆葉色 「夢しずく」「ヒノヒカリ」「さがびより」でやや濃く、「ヒヨクモチ」で濃い。
		平年	72.5	420	11.5	39.1	
		平年比(差)	102	81	+0.1	+1.0	
	ヒノヒカリ	本年	71.6	496	11.9	41.5	
		平年	66.4	546	11.5	40.0	
		平年比(差)	108	91	+0.4	+1.5	
6月20日	さがびより	本年	69.8	478	11.5	40.9	
		平年	63.3	535	11.6	39.9	
		平年比(差)	110	89	-0.1	+1.0	
	ヒヨクモチ	本年	64.6	887	12.3	42.8	
		平年	58.2	824	12.1	40.7	
		平年比(差)	111	108	+0.2	+2.1	
留意点	○ 「夢しずく」は7月28日(平年並み)に幼穂形成期を迎えており、穂肥診断に基づき追肥を適正に施用する。 ○ 中干しが終わった圃場については、今後は間断灌水を行う。 ○ 病気や害虫の発生に注意する。農業技術防除センターの情報を参考にするとともに、“田まわり”を行的確な防除を行う。						

4 今後の管理

1) 山間早植え水稻（5月上中旬移植）

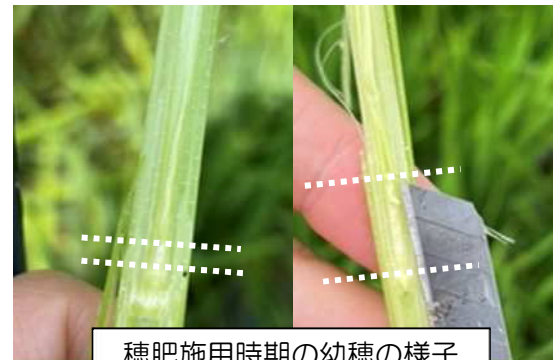
- 5月上中旬移植の夢しずくは、現在、乳熟期となっている。
- 薬剤によるカメムシの防除を徹底する。
- また、早期落水による米の品質低下を防ぐため、収穫の7日前までは間断灌水を行い、必ず圃場に水を通すようにする。

2) 普通期水稻「夢しずく」

- まもなく出穂期を迎える。
- 穂孕期から穂揃期にかけては、水稻の用水要求度が最も高い時期であるため、水が切れることがないように圃場は湛水管理を徹底する。
- 出穂直前の畦畔除草は、カメムシのほ場への侵入を助長し、被害を増加させるおそれがある。
畦畔の除草は出穂10日前までの作業とし、出穂直後に畦畔除草は行わない。
- 出穂期前後は、台風による影響を受けやすい時期であるため、台風の接近等が予想された場合には可能な限り深水とし、強風による葉先の裂傷や剝擦れなどの被害を緩和するよう努める。

3) 普通期水稻「たんぼの夢」、「ヒノヒカリ」等

- ・まもなく幼穂形成期を迎えるため、中干しは終了し、間断灌水へ移行する。
- ・幼穂を確認し、穂肥施用時期を迎えたら、次の診断基準をもとに施用を行う。ただし、「葉もち病（褐点型・停止型）」の発生が上位葉で確認された場合は、穂肥施用量を減量する。



穂肥施用時期の幼穂の様子
左 1.0 mm 右 12 mm

《参考》出穂期の平年値と穂肥施用時期の目安

※移植日と出穂期は過去7年間で上限と下限を除いた5年分の平均

品種	移植日	出穂期	幼穂形成期（1 mm～15 mm） 穂肥施用時期目安
夢しずく	5月31日	8月6日	7月15日～23日
ヒノヒカリ	6月20日	8月26日	8月2日～10日
たんぼの夢	6月17日	8月28日	8月6日～13日

【穂肥診断の方法】

- ① 幼穂形成始期頃の草丈を測る。
- ② 葉色（群落・SPAD値）を測る。
- ③ 上記①②の測定値を診断指標に当てはめ、施用量を確認する。
- ④ 施用量が確認できたら、記載された施用時期に穂肥を施用できるよう準備する。

「ヒノヒカリ」の穂肥診断基準

幼穂形成始期の草丈(cm)	葉 色		施 用 時 期		穂肥施用量(kg/10a)	
	群 落	SPAD-502	出穂前日数	幼 穂 長	窒素成分量	BB602
80cm以下	3.0以下	34以下	24～20日前	1～2mm	3.0	18 kg
	3.0～3.4	35～38	20～18日前	3～5mm	3.0	18 kg
	3.5～3.8	39～40	18～14日前	5～15mm	2.0	12 kg
	3.8以上	41以上	16～13日前	15～30mm	1.0以下	6 kg
80cm以上	3.0～3.4	35～38	20～18日前	3～5mm	2.0	12 kg
	3.5～3.8	39～40	18～16日前	5～15mm	1.5	10 kg
	3.8以上	41以上	16～13日前	15～30mm	1.0以下	6 kg以下

「たんぼの夢」の穂肥診断基準

幼穂形成始期の草丈(cm)	葉 色		施 用 時 期		穂肥施用量(kg/10a)	
	群 落	SPAD-502	出穂前日数	幼 穂 長	窒素成分量	BB602
65cm以下	3.8以下	39以下	22～20日前	2～3mm	3.0	18 kg
	3.8～4.2	40～41	18～15日前	5～15mm	1.5	10 kg
	4.2以上	42以上	施 用 し な い			
65cm以上	3.8以上	39以下	22～20日前	2～3mm	1.5	10 kg
	3.8～4.2	40～41	18～15日前	5～15mm	1.0以下	6 kg 以下
	4.2以上	42以上	施 用 し な い			

※ 草丈は幼穂の伸長程度より幼穂形成期（幼穂長1 mm）を基点に、前後1日当たり1 cm増減する。

※ 止葉が抽出し終わった後は施用しない。

※BB602の施用量は栽培ごよみに準じている。

※穂肥は湛水状態で施用し、最低4日間は止水し落水しない

4) 共通

○主な病害虫の防除適期

病害虫名	稲のステージ 出穂前後日数	防除適期									
		-15	-10	-5	0	+5	+10	+15	+20		
紋枯病	並発生の場合	←→									
	多発生の場合	←→		←→							
穂いもち	並発生の場合	←→									
	多発生の場合	←→				←→					
カメムシ類	並発生の場合							←→			
	多発生の場合							←→			

図3 紋枯病、穂いもち、カメムシ類の防除適期

(いもち病)

・7月に入り好天が続いているため、7月25日時点では、感染好適条件は発生していないが、常発地帯では、いもち病の発生が確認されている(8月5日時点)。引き続き注意して圃場を観察する。

BLASTAM情報第7号(葉いもち感染好適条件の出現状況)(2024年7月25日更新)

月	日	佐賀					福岡			長崎	
		唐津	伊万里	佐賀	嬉野	白石	前原	太宰府	久留米	松浦	佐世保
7月	1日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2日	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3日	—	—	—	—	—	—	?	—	—	—
	4日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	9日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	10日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	13日	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—
	14日	—	2	—	2	—	—	—	2	2	—
	15日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	16日	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—
	17日	3	3	—	●	3	—	—	3	—	—
	18日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	19日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	20日	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—
	21日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	22日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	23日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	24日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(ウンカ類)

例年と比較して飛来量が多い。今後の発生状況に注意が必要。

海外飛来性害虫情報第7号(ウンカ類・コブノメイガのトラップ捕獲状況) (令和6年7月25日更新)

月	日	トビイロウンカ					セジロウンカ					コブノメイガ							
		佐賀県		長崎県			佐賀県		長崎県			佐賀県			長崎県				
		佐賀市	嬉野市	諫早市	諫早市	諫早市	佐賀市	嬉野市	諫早市	諫早市	諫早市	佐賀市	佐賀市	神埼市	伊万里市	白石町	武雄市	諫早市	諫早市
ネット トラップ	ライト トラップ	ライト トラップ	ネット トラップA	ネット トラップB	ネット トラップ	ライト トラップ	ライト トラップ	ネット トラップA	ネット トラップB	フェロモン トラップA	フェロモン トラップB	粘着トラップ (20W蛍 光灯)	粘着トラップ (20W蛍 光灯)	粘着トラップ (20W蛍 光灯)	粘着トラップ (20W蛍 光灯)	フェロモン トラップA	フェロモン トラップB		
6月	19日	0	1	0	0	0	1	6	0	0	0							0	0
	20日	0	3	0	0	0	0	10	2	0	0							0	0
	21日	0	8	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0	欠測	0	0	1	4	0
	22日	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0							0	0
	23日	0	24	0	0	0	25	66	8	1	1							10	0
	24日	0	14	0	0	0	13	92	5	0	2							18	0
	25日	0	1	0	0	0	0	148	1	0	0	0	0	3	0	0	3	25	3
	26日	0	9	0	0	0	0	187	0	0	0							16	0
	27日	0	3	0	0	0	2	8	0	0	0							7	1
	28日	0	7	0	0	0	0	30	4	0	0	0	0	5	0	0	1	2	0
	29日	0	4	0	0	0	3	31	2	0	0							1	0
	30日	0	13	0	2	0	15	5	0	3	0							2	0
7月	1日	0	229	0	0	0	14	88	0	1	0							2	3
	2日	0	41	0	0	0	0	97	0	0	0	0	0	3	0		1	4	2
	3日	1	欠測	0	0	0	1	欠測	0	0	0							2	2
	4日	0	5	0	0	0	0	3	0	0	0				1			2	0
	5日	0	0	0	0	0	5	9	0	1	0	0	0	0	0		1	2	0
	6日	0	0	0	0	0	0	5	1	0	0	0	0	0	0			2	1
	7日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0							1	0
	8日	0	1	0	0	0	2	1	2	0	0							0	0
	9日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	欠測	0	2	0
	10日	0	2	0	0	0	1	252	1	2	0							0	1
	11日	0		0	0	0	1		106	0	0							0	0
	12日	0		0	0	0	0		33	0	0	0	0	0	0			1	1
	13日	0	3	0	0	0	0	933	232	0	0	0	0	0	0	欠測	13	0	0
	14日	0		0	1	0	0		70	0	0							0	0
	15日	0		0	0	0	0		17	0	0							1	1
	16日	0	0	0	0	0	0	24	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	17日	0	0	0	0	0	0	6	2	0	0			0	0	1	2	0	0
	18日	0	0	0	0	0	0	35	1	1	0							0	0
	19日	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	4	0	3	3	0	0
	20日	0	0	0	0	0	4	9	3	0	0	0	0	0	0			0	0
	21日	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0							0	0
	22日	0	0	0	0	0	1	5	0	0	0							0	0

注1)ウンカ類:佐賀市のネットトラップは、農業試験研究センターで調査(回収日で集計)。嬉野ライトトラップ(予察灯)は農業技術防除センターで調査。

7月11~15日の嬉野ライトトラップは、装置の不具合により5日間の合算値。

注2)コブノメイガ:神埼市、白石町、伊万里市、武雄市は防除員が調査。佐賀市のフェロモントラップは農業試験研究センターで調査。

※長崎県のデータは、長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室提供。

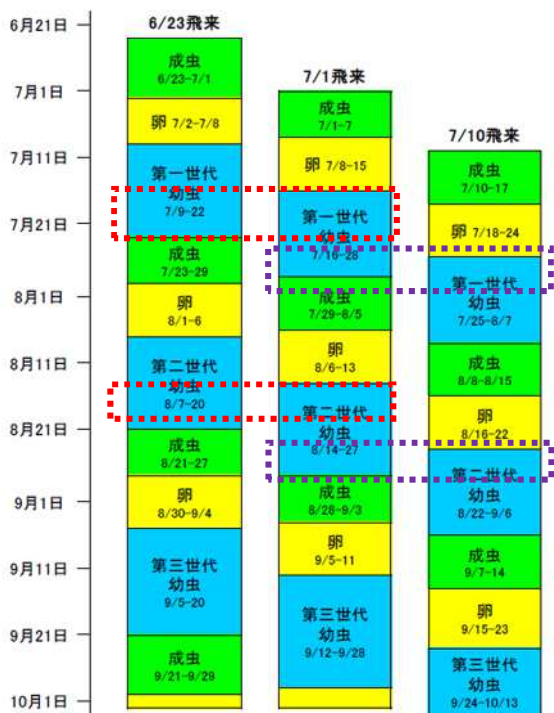


図1 トビロウカ各世代の発生予測 (第2版、2024年7月19日作成)

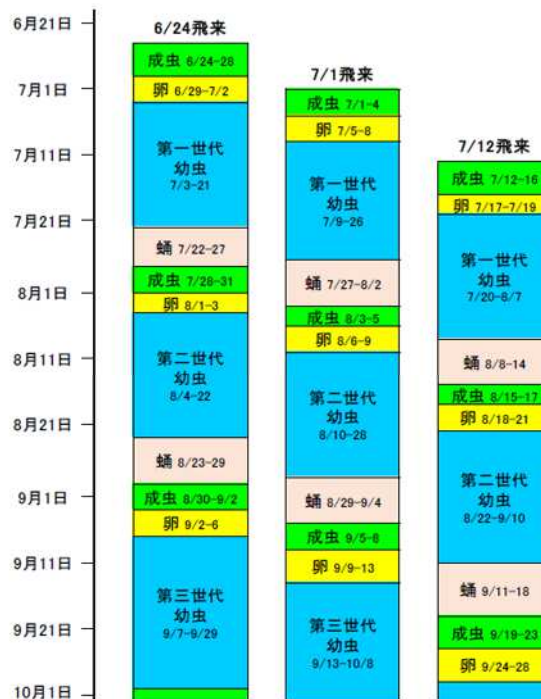





図2 コブノメイガ各世代の発生予測 (第2版、2024年7月19日作成)










早期移植防除適期 . . . 7/16~22、 8/14~20
 普通期移植防除適期 . . . 7/25~28、 8/22~27

農業技術防除センター提供

- 今後の飛来状況や圃場条件（移植時期や品種、圃場の場所等）によってウンカ類の発生量は異なるため、注意深く圃場を観察し、発生が多くみられる場合は速やかに防除を行う。

ウンカ類幼虫の見分け方について

	若齢幼虫の体色	中～老齢幼虫の体色	水面での後脚の出し方
セジロウカ	白っぽい	灰白の斑紋	 : 真横
トビロウカ	白っぽい	薄茶か茶褐色	 : 真横～やや斜め後ろ
ヒメトビウカ	黄褐色	淡黄色か薄茶か茶褐色 (体側の色が濃い場合あり)	 : 斜め後ろ

		トビロウカ	セジロウカ	ヒメトビウカ
幼虫	成虫	 長翅雌  短翅雌		 雌  雄
	若齢			
	中齢～老齢			

農業技術防除センター提供

令和6年産水稲生育期間気象グラフ (アメダス：伊万里)

西松浦農業振興センター

